

# VW 用 CPU モジュール VW-CPU

VW-CPU は、ATEN VW ビデオウォールプロセッサ用の CPU モジュールです。

VW3620 には 2 つ、VW1608 には 1 つの CPU モジュールスロットが設けられており、標準では 1 枚の CPU ボードが搭載された状態で提供されます。

VW3620 に VW-CPU を追加するとホットスタンバイとして機能し、万が一プライマリ CPU がシャットダウンしてしまった際でもセカンダリ (スタンバイ) CPU が自動的に動作を引き継ぎ、プライマリとして切り替わって途切れなくロジック動作と IO 制御を再開するので、ビデオウォール表示に影響を与えることはありません。

VW-CPU はビデオウォールシステムをミッションクリティカルな現場に導入する際に、高い安定性と信頼性を提供します。

- ・ビデオウォールプロセッサ「VW3620」用の冗長化 CPU モジュール
  - ・システムシャットダウンなしで入れ替えができるホットスワップ対応
- ※ CPU モジュール冗長化は VW3620 のみ対応



## [仕様]

機能	VW-CPU
制御	
Ethernet	RJ-45 ポート x1 10/100/1000 Base-T
電源	
消費電力	9.95W:47BTU ※ワットでの測定値は、外部負荷がない状態での消費電力です。 ※ BTU/h での測定値は、デバイスがフルロードされた状態での消費電力です。
動作環境	
動作温度	0~40°C
保管温度	-20~60°C
湿度	0~80% RH、結露なきこと
本体	
ケース	メタル
サイズ (WxDxH)	27.10×19.30×2.74cm
重量	0.78kg
同梱品	本体 x1

